

道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK



お互いのバイク談義だけで何時間も過ぎてしまう。ライダーは基本、人間&自然好きだと思ふ。



常連さんと初めてのお客さんが入り混じってワイワイ。お腹がよじれるほど笑ってる！



しまなみ珍道中を終えた3人。敬子さんの両側は、大晦日の宗谷岬にハマった内山さんと上条さん。

爽やかな今年のGW。みなさんどのようにお過ごしでしたか？ 私は、解き放たれるように野山へ出かけていました。じっと我慢して(させられ)カフェのお手伝いに専念しておりました。なんと4月の末に、右足小指の基節骨を骨折。ギブスシーネと包帯で固定して全治2ヶ月と言われ、ガン。でも諏訪大社で大吉を引いたので、「これで済んでよかったに違いない」と前向きです。原因は、寝起きのボケたまま自宅の部屋で電気をつけずに走っていたら、床に置いた硬くて重いダンボールの角に思い切り小指をぶつけたこと。安全管理、まったくなっておりません。お医者様に「クログスみたいなサンダルがいいですよ」と

言われたけれど、店頭のみならず3Lサイズでも全く入らず、医療用のサンダルに辿り着くまで雨の中を彷徨ったことが一番辛かったかも。石膏製のシーネを濡らしてはいけないとヒールを被せたものの、店舗の床は滑り、速度はいつもの半分。骨折や捻挫は山ほどある私でも、半割り状態のシーネは初めてで、中途半端に動けるので嬉しいけれど、やや戸惑いが。しかし、もちろんバイクは無理ですが、骨折なのに四輪の運転ができることは大いに助かりました。後半は往復500キロのドライブもこなし、心が暗くなることは全くありませんでした。一番よかったのは、お天気だったGWに落ち着いてカフェのお客様たちを迎え

入れることができたことで、九州から走ってきたライダーたち、本当に楽しそうでした。一年ぶりという人も(高齢者)いっぱいおり、今年は何処を走ってきたのかな、面白かったのかな、家族は元氣かな、バイクは同じかな、誰と来たのかなど、いろんなことが気になりました。最近「ライダーズカフェ」というより近所さきも合せて「寄り合い所」と化していますが、その雑多な感じが自分たちも心地よく、店内から溢れ出た人が外の簡易テーブルセットでぎゅうぎゅうになって大笑いしています。大抵は初めであった同士が意気投合しており、厨房にその笑い声が聞こえてくると、なんとも幸せな気分になります。よかったです。本当に吹いています。「何が？」と聞くと、「ヤギチーズを

ある人はこの春から世界一周に行くので、出発前の顔見せに。ある人はカブで1500キロの珍道中を終えて報告に。16歳の地元ライダーたちは、GWのラストを飾って来てくれました。みんな地球の道が大好き。バイクに未来は、絶対にありますね！ さて、骨折から3週間。私なりにじっとしていたつもりでしたが、レントゲンを撮ったら、2箇所骨折箇所がずれており、しかもくっついてなかった。骨密度はよかったです。やっぱりしゃぶるべきか。反省。私の反省は当てにならないと指されましたが、しばらくラン(足と輪っか)は諦めて、旅するライダーたちの母となりま〜す。



三好礼子 エッセイスト・元国際ラリスト ~ http://www.fairytale.jp/~



このバイクで世界を巡る古川昭夫さん。貯めたお金で2~3回に分けて行くそう。まずはロシアへ！



BMW1200を軽々扱う佐藤敬子さんはベテランのケアマネ。この日はカブで2泊3日1700キロ。

★三好礼子の★
ナチュラル・ロード

爽やかな16歳。松本ではバイクで通っている学校(通信制)があり、一人の父はハーレー乗りだったという。

ハット
思いました
ゴールデンウィークは何かお過ごしだったでしょうか？いつもの渋滞でぐったり？でした。

柏餅は柏の葉の特性から、家系が絶えない様にと云う縁起物。ある時、秀吉さんが、かしわもちをかちわもちと聞き間違えて、勝和餅と言ったとか。ちまきは茅の輪ちまきは茅の輪米、もち米を包んで蒸したもので災難厄除けの在り難い食べ物。今自分がここに

さほど根拠のないブームに流され、運転は勿論、維持

カー利用が増え、状態になりかねません。人車両の形状からして、ドライバーの私だけですか？

都市計画の中の道路⑬
街路から見た田園都市(その1)
東洋大学国際学部・准教授 志摩憲寿

ハワードの田園都市は、その明快なダイナミクスも手伝い、資本主義社会の要求とヒューマンスケールの「中世回帰型」コミュニティへのノスタルジアを合理的手段によって融合し、また、国土規模でも応用の効く都市問題に対する解決策として世界中に大きな影響を与えました。さらに、多くの理想都市とは異なり、田園都市は、しばしば「田園郊外」として部分的である、様々な形で実現を見ることがなりました。イギリスではレッチワースやウェルwyn、フランスではハムステッド、ドイツ、フランス、スウェーデン、アメリカ、カナダ、オーストラリア、また、南アフリカでも田園都市が建設され、さらに、日本でも沢沢栄一らによって田園都市株式会社が

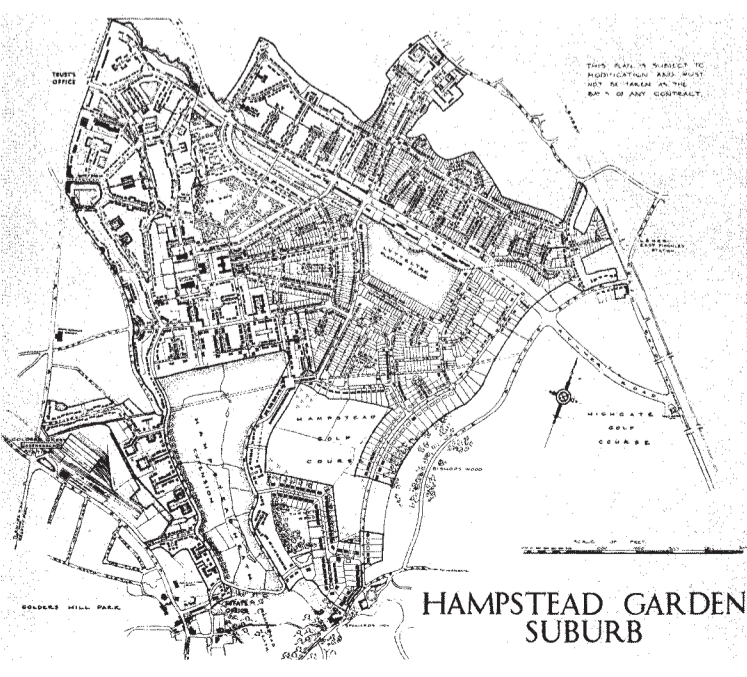


図 ハムステッド田園郊外全体配置図 (出典：タフォーラ (2002))

らに、住宅へのアクセスにアーバンセンターやハムステッド・ヒース」と名付けられた広場を中心に配したこの住宅地には、高水準の様々なタイプの住宅が多様なレイアウトで配置され、それらが街路網によって結ばれていますが、街路や街路の配置は、グリッドパターンと対置されつつ、ハウワードの田園都市の設計手法として一つのプロトタイプとなりました。